

女性に選ばれるまちになるために



「女性を選び、戻りたくなるまち・岡山に」をテーマに意見が交わされたフォーラム＝9日、岡山市

就職などを機に地方から女性が流出する問題が指摘される中、「女性を選び、戻りたくなるまち・岡山に」をテーマにしたフォーラムが9日、岡山市北区鹿田町の岡山大Jホールで開かれた。

岡山大でフォーラム

県内産官学 男女格差是正策探る

内閣府男女共同参画推進連携会議有識者議員で、各地の自治体のアドバイザーを務める小安美和さん(Wiil Lab代表取締役)が基調講演し、女性流出の要因の一つにジェンダー・ギャップ(男女格差)があると指摘。家事・育児負担が女性に偏っているこ

とや、各分野の意思決定層を男性が占める課題などを挙げ、「産官学連携で是正に取り組んでほしい」と呼びかけた。

「女性に選ばれるまちになるために」と題したセッションでは岡山県内の2社が自社の取り組みを報告した。

従業員約150人の醸造機械メーカー、フジワラテクノアート(岡山市)は、社員の強みや個性を評価するよう人事制度を改定。子育て中の女性も昇進できる環境を整えたところ、大手企業からの転職希望者が男女ともに増え、年間約800人の応募があるという。

藤原加奈副社長は「多様性のある組織になることは採用面だけでなく、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進や技術開発などの面でも効果大きい」と話した。

傘下の従業員が約5千人のちゅうぎんフィナンシャルグループ(岡山市)は2014年に女性ワーキングチームによる経営層への提言制度をスタート。昇格要

「女性に選ばれるまちになるために」

セッションに登壇した伊原木隆太知事は「多様性があることは企業にとってもメリットがある。女性に選ばれるまちを目指し、できることは何でもしていきたい」と応じた。

フォーラムは国際女性デー(8日)を記念し、県内企業の役員や管理職、大学関係者、専門職、起業家など多様な分野の女性らが立ち上げた団体「WePRO(ウィープロ)」が主催し、岡山大ダイバシティ推進本部などが共催。約160人が参加した。

(影山美幸)

東京大空襲80年 継承誓う

遺族ら 絶えぬ戦禍に思いはせ



東京大空襲から80年となり、追悼碑に手を合わせる人々＝10日、東京都台東区の隅田公園

表として参列した墨田区の田中洋子さん(81)は取材に「あちこちで戦争が起きていて、苦しい思いをしている人が、たくさんいる。そういつた世界がないように願って手を合わせた。誰かが話して受け継いでいかな」といけない」と語った。

45年3月10日未明、現在の江東区や台東区、墨田区など下町の木造住宅密集地に、米軍のB29爆撃機が大量の焼夷弾を無差別に投下。大火災が起き多数の死者や負傷者が出た。戦況が悪化した太平洋戦争末期には、名古屋や大阪といった大都市だけでなく、地方都市も爆撃された。

新幹線連結運転 週明けもできず

東北など影響続く

東北新幹線はやぶさ・こまち21号の連結が走行中に外れたトラブルを受け、JR東日本は週明けの10日も引き続き、東北、秋田、山形の各新幹線での連結運転を取りやめた。一部運休などが続く中、この日は計約2万3300人に影響が出た。14日まで連結運転の見送りが既に決まっており、以降の計画も未定。通常運行再開の見通しは立っていない。

東北新幹線では10日午前7時15分ごろ、福島―郡山

太平洋戦争末期の1945年、一晩で10万人が命を落としたとされる東京大空

者がウクライナやパレスチナの人道危機に思いをはせつつ、継承を誓った。